

# 公益社団法人広島県就労振興センター

## 2021 年度事業報告

2021 年度においても、2020 年度からの新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の低迷とイベント等販売機会の喪失により、障害者就労支援事業所で生産する自主製品の販売と内職、下請、施設外就労の受注が減少し、障害者の就業と工賃の維持に甚大な影響を与えた。併せて、事業所においては、職員や障害のある利用者が安全・安心にはたらくことが難しくなるなど、事業所を取り巻く環境は引き続き厳しい状況であった。

ふれ愛プラザでは、事業所生産のお菓子を詰め合せた「おやつ BOX」の販売に加え、食品、雑貨などを詰め合せた「ギフト BOX」を新たに開発し、外商による注文販売に努めた。こうした取組は行政においても高く評価され、広島市の「ふるさと納税返礼品」に「おやつ BOX」が選定された。また、「おやつ BOX」等の取組が「県の令和 2 年度年間ベストプラクティス大賞」を受賞し、県庁内で「ふれ愛プラザ」や障害福祉サービス事業所商品の認知度が上がったことにより、庁内販売の売上が増額し、県関連イベントでの粗品注文も増加した。さらに、店舗正面外観を改修し、「冬の 10weeks キャンペーン for セルプ」を開催、クリスマスやお正月などの季節行事に合わせた商品開発と店舗ディスプレイの変更、ソーシャルメディアを用いた広報の強化などにより店舗客数の減少を最小限に留める取組を実施した。

共同受注窓口においては、官公庁や企業などからの内職等受注作業の開拓と斡旋に努めた。営業の強化により、国、県等の官公庁のほか、民間企業や団体、農福連携等の新規受注を得ることができた。

県の委託事業として「事業所応援市町キャンペーン」をオンラインで初めて実施した。特設モジュールを WEB 上に設置し、事業所製品の販売とその活動の周知を行った。事業所と市町等との連携や事業所製品の組み合わせによる新たなセット商品の開発にもつながる取組となった。

こうした取組により、ふれ愛プラザと共同受注事業のいずれも販売・受注額、受注件数はコロナ禍前の一昨年度を上回り、事業所製品の販路確保と業務受注の拡大についてその役割を果たすことができた。

研修については引き続きオンラインで実施し、コロナ禍による環境変化の中での工賃向上や、発達障害のある人の職業的課題と対応などの事業所のニーズに基づく研修の実施に努めた。

呉安芸地域就業・生活支援センター事業については、就労希望の障害者とその適性に応じた一般就労とその職場定着を図り、企業が安定した障害者雇用に取り組むことができよう支援することが重要である。コロナ禍のため、電話での状況確認と相談、少人数での個別訪問等を行った。また、オンラインでの研修や交流会の活用などにより、求職者や企業のニーズを十分に聞き取り、センターが地域支援ネットワークのハブとしての役割を果たせるよう、ハローワークや地域支援機関と連携した取組を進めた。

すまいるスタジオにおいては、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を進めながら、利用者がそれぞれ安心して働ける環境づくりに努めた。また、広島市が優先調達推進法を活用した「平和のふせん」の大量受注において、できるだけ多くの事業所が作業に携わることができるよう、工程管理や作業斡旋にも取り組んだ。

## 1 障害のある人の就労等に係る情報提供及び啓発に関する事業

### (1) 広報事業

① 広報誌の発行（年1回：11月） 各回約5,700部 発行

関係行政、社協、民生委員、関連企業、正会員、賛助会員、諸団体等へ 配布

### (2) 情報提供

① ホームページ、facebook の運営

セルフフェア 2021 やイベント等の開催前に HP や Facebook で事業所や商品の紹介を行った。コロナ禍でイベント等開催が難しく、事業所情報を伝える機会が減少する中、SNS を活用し、より多くの方に情報を届け続ける必要性を感じた。

② ふれ愛プラザ商品紹介（HP、オンラインショップ、Instagram、facebook、LINE の活用）

③ 企業への情報提供

賛助会員企業へ「働く広場—障害者と雇用」（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構発行）を毎月配布した。

## 2 障害のある人の就労等に係る研修に関する事業

### (1) 研修会

① 就労支援セミナー 「発達障害のある人の職業的課題と対応について」

日時 11月2日（火）13時～16時 オンライン（Googlemeet）での開催

共催 広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会

講師 西村浩二氏（広島県発達障害者支援センター）

参加者 31名

内容 講義「発達障害のある人の職業的課題と対応について」  
グループワークによる事例検討

## 3 障害のある人が福祉施設等で制作した商品の開発、販路の拡大並びに作業の開発、開拓、斡旋に関する事業

(1) 受発注マッチング・ふれ愛プラザ運営強化事業（広島県委託事業：ふれ愛プラザ・共同受注窓口事業）

① 総売上 27,777,107 円（対前年比 93.6%）、来店者が 11,462 人（対前年度比 80.5%）。

② 体験教室、イベントの開催について

I 「夏休み工作教室」及び「ふれ愛プラザ夏の感謝祭」は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。

II 広島県委託事業 「広げよう、障害者福祉事業所を応援する輪！「つながる、つなげる 事業所応援市町キャンペーン」でのオンライン販売の実施

期間：2月15日～3月末（販売期間は3月15日まで）

内容：オンライン上に特設モールを開設し、各市町で活動する事業所の製品のセットを紹介、

販売する。併せて、各市町の障害者就労支援の取組を紹介する。

### Ⅲ「おひさまマルシェ」開催

期間：4月27日（火）～5月3日（月）

場所：広島三越 1階 イベントスペース

参加事業所数：40事業所（内、会員22事業所）

売上総額：2,115,905円（税抜き）／売上総数：6,794点

### ③ 県民・市民に身近な“ふれ愛プラザ”を目指した店舗づくり

#### I 施設活動、製品についての広報・啓発（店舗、事業所紹介）

事業所で製造しているお菓子の詰め合わせ「おやつBOX」の販売を強化。ふれ愛プラザ活動、製品紹介のチラシ等を作成し、行政、福祉機関・団体の協力のもと、幅広い販売促進とPRに努めた。

II 販売実習は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止。

#### III オンラインショップ運用開始

事業所製品と併せて、事業所で働く障害のある人たちの様子、生産工程も紹介した。

（15事業所、32商品を掲載）

#### IV 外部出展・販売

月	イベント	場所等	金額(円)	商品
7	カープ 広島県・広島市合同応援	マツダスタジアム	84,973	お菓子・雑貨

### (2) 工芸品、雑貨等への品質と商品力向上への支援

夏、秋、冬の季節毎の商品や贈り物に最適な商品を詰め合わせ、「ギフトBOX」を注文販売に加えて販売を強化した。

### (3) 常設店・フェア・イベント事業支援

#### ① 常設展示

ひろしま夢ぷらざ（広島市中区）、広島プリンスホテル（広島市南区）、ローソン（広島市中区）、ポプラ（広島市中区）、セブンイレブン（広島市中区他1店舗）、イオン広島府中店（安芸郡府中町）、TAU（東京都中央区）

#### ② 創作品、商品の展示紹介活動の推進

フェア名	開催日	開催地	参加事業所数
セルプフェア2021	12月1日（木）～ 12月14日（火）	ひろしま夢ぷらざ （広島市中区）	31事業所 （内会員22事業所）

#### ③ 斡旋紹介活動の推進

##### I 受発注マッチング・ふれ愛プラザ運営強化事業（共同受注）

年度	売上高（件数）	比率：%
令和2年	10,525,689円（216件）	117（件数比125）
令和元年	8,993,312円（172件）	100（件数比100）

##### II ルイボスティ・海水の素共同受注事業支援

##### III 自動販売機事業共同受注事業支援

##### IV 商談会への参加

【令和2年度販路開拓支援事業「商談会」】 オンラインによる開催

期 日：2021年11月25日（木）

会 場 :ホテルセンチュリー 2 1 広島

主 催 :広島県商工会連合会

提案商品 : お菓子の詰め合わせ (2,000 円、3,000 円のセット商品)

内 容 :小規模事業者等の商品開発・販路開拓を支援するため、首都圏並びに広島地区等のバイヤーを誘致した商談会

結 果 :株式会社ハーモニック、株式会社郵便局物販サービス、西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社、まるごと食品へ商品提案を行う。

直接その場での契約にはつながらなかったものの、継続した商談を行っている。

#### V 情報収集・研修会への協力・参加

市町の自立支援協議会へ参加し、共同受注、情報収集、研修会への協力等を行った。

##### ①安芸高田市自立支援協議会への参加

- ・安芸高田市広報誌他の封入作業（発注元：政策企画課、秘書広報課）及び安芸高田市の公用車洗車作業（発注元：社会福祉課）等の調整

#### (4) 研修会の開催

##### ①工賃向上研修（広島県委託事業）

###### I HACCP 対応研修

日時：4月23日（金）13：30～15：30

講師：ホシザキ中国株式会社 コンサル室 調理アドバイザー 主任 三尾智聖氏

参加者：34名

###### II 工賃向上研修の実施協力

主催：広島県 実施主体：株式会社インサイト

講師：株式会社インサイト 北野喬士氏、高玉要氏

日時・場所	テーマ	プログラム
第1回 9月9日(木) 10時～17時30分 オンライン研修 (Zoom) 参加者：16名	①マーケティング (選択) ②アセスメント(必 須) ③請負営業(選択)	①マーケティング戦略、戦術など ②工程改善と作業アセスメント、作 業アセスメントの作成、活用方法な ど ③請負営業の流れとロールプレイ ング
第2回 3月3日(木) 13時30分～16時 オンライン研修 (Zoom) 参加者 24名	【成果報告会】 全国の事例、実践報 告	事例紹介、今年度アドバイザー派遣 事業所の実践報告など  実践報告事業所： NPO 法人地域ネットくれんど、指 定就労継続支援 B 型事業所すみれ、 社会福祉法人まつさか福祉会、ビバ ウェーブ株式会社

#### 【工賃向上アドバイザー派遣】

主催：広島県 共催：呉市 実施主体：(株) インサイト

日 程：10月21日（木）、11月18日（木）、12月16日（木）、1月27日（木）

事業所：ワークハウスクローバー、ぽこ・あ・ぽこ、どリーむ、ふれあいの家たんぽぽ、

指定就労継続支援 B 型事業所すみれ、NPO 法人くれんど（ジョバンニ、カンパネラ）

アドバイザー：株式会社インサイト 北野喬士氏、高玉要氏

内 容：各事業所の課題、達成目標を整理し、行動計画を作成、実施に向けて助言を行う。

【就労継続支援 B 型事業所 営業特化型研修】

日 時：2月22日（火）13時30分～17時 オンライン（ZOOM）での開催

共 催：広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会  
広島市就労支援センター

講 師：高玉要氏（株式会社インサイト）

参加者：15名

内 容：講義「営業の基本」

グループワークによるロールプレイング、質疑応答

#### 4 障害のある人に対する就業・生活支援に係る事業

(1) 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター事業を実施した。

就業支援登録：40名（累計1,217名）の就労希望者の登録

就業における実績：職場実習29件、就労実績41件、就職1年後80.4%

障害別・登録者 件数 (2022年3月31日現在)

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害 (発達障害・難病・ 高次脳機能障害)	合計 (件)
142	671	399	5	1,217

2021年度 新規登録者内訳

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (件)
4	15	20	0	40

2021年度 就業実績 件数 ※ ( ) 内は前年度件数

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (件)
2 (7)	21 (20)	18 (19)	0 (0)	41 (46)

2021年度 職場実習あっせん 件数 ※ ( ) 内は前年度件数

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (件)
1 (4)	14 (17)	14 (26)	0 (0)	29 (47)

就業定着率 (2018年度就業者68名のうち就業1年後の定着率) ※ ( ) 内は前年度定着率

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (%)
71.4 (87.5)	90.0 (92.3)	73.7 (93.3)	0 (0)	80.4 (91.8)

#### (2) ピアサポート活動

ピアサポート活動はリピート率が高く、すぐ定員に達するほど人気のある企画となっている。4回開催の予定のうち、第1回は集合型で実施したが、第2回、第3回は新型コロナウイルス感染拡大予防の為オンライン開催、第4回は中止となった。

オンライン開催では、知的障害のある方から操作が困難であったり、制限がかかっているなど

参加が難しい状況であるという意見が伺えた。また、交流会に参加することで日々外出が困難となっている方のストレスの解消や情報共有できる機会となっている。今後は感染予防対策を徹底し、集合型の活動についても開催をしていきたい。

実施日	内 容
第1回 2021年4月24日(土) (ビューポートくれ 大会議室)	テーマ：人との付き合い方について 参加者： 11名 (就業している障害者7名、就労を目指す登録者4名)
第2回 2021年7月17日(土) (オンライン開催)	テーマ：コロナ禍での新しい生活様式で工夫していること 参加者： 11名 (就業している障害者6名、就労を目指す登録者5名)
第3回 2021年11月13日(土) (オンライン開催)	テーマ：日頃、思っていることや聞きたかったこと 参加者： 7名 (就業している障害者4名、就労を目指す登録者3名)

### (3) 職場定着促進のための在職者交流活動

オンラインにて3回開催した。より多くの方が受講できるように、オンライン環境の設定が難しい方はコロナ予防対策を行った上で会場にて受講いただくなどの対応も行った。

実施日	内 容
第1回 2021年5月29日(土) (オンライン開催)	【登録者、家族、支援者向け講座】『障害年金の基礎講座』 講師：道沖利恵氏(社会保険労務士) 参加者 18名
第2回 2021年8月28日(土) (オンライン開催)	【登録者向け】(精神障害者対象)『お金の達人になろう』 講師：君崎滋氏(ファイナンシャルプランナー) 参加者 8名
第3回 2022年1月22日(土) (オンライン開催)	【登録者、家族、支援者向け講座】『親なきあとについて今 できることについて』(相談先や成年後見制度等について 学ぶ) 講師：小谷敬子氏(社会福祉士)、豊東瞭氏(社会福祉士) 参加者 29名

### (4) 関係機関との連携

企業からの求人やマッチングに関して障害者能力開発校や就労移行支援事業所、ハローワークと連携し実習や面接をすすめることができた。精神障害者に関しては体調が変わりやすい方が多く医療機関と連携することが不可欠となっているため、受診同行し配慮事項を共有しながら整理した。

呉市、江田島市の自立支援協議会就労支援部会に参加し、障害者雇用をすすめていく上での課題について発言や行事等の案内をした。

- ・呉市自立支援協議会 6回出席(全6回開催)
- ・江田島市自立支援協議会会議 4回出席(全4回開催)

### (5) 関係機関との連絡会議の開催状況(地域の就労支援力の底上げのためのネットワーク形成・セミナー等の実施)

実施日	内 容
2021年6月11日(金) ↓ 2021年10月29日(金)	『専門的分野の有識者を講師とした地域支援機関、企業担当者を対象とした研修・交流会』(応急処置を学ぶ) 講師：瀬川 久江 氏(救急看護認定看護師・救急救命士)

(オンライン開催)	障害のある方が職場や支援機関での不慮の事故や発作が起きた場合にまず何をすればよいのか、救急車が到着するまでに行うべき適切な対応についての基礎知識を学ぶ。 参加者：17名(12事業所)
2021年11月29日(金)	『障害者雇用企業見学・交流会』 見学先：株式会社エネルギア・スマイル(安芸郡坂町) 参加者：20名(11事業所)
2022年1月22日(水) (オンライン開催)	『就労支援事業所との意見交換会』 就労支援の基礎や応用についての情報交換会
2022年1月25日(金) (オンライン開催)	『呉安芸地域障害者雇用関係機関連絡協議会』 研修会：「発達障害者の就労と就労定着について」 (多機能型事業所古の市 就労支援員 伊野有美子氏) 参加者：53名(35事業所)

(6) 就労支援スキルアップを目的とした研修会参加状況

研修・会議名	場所	期間
令和3年度障害者就業・生活支援センター 中国・四国ブロック経験交流会議	オンライン参加	2021.11.11
令和3年度障害者就業・生活支援センター 中国・四国ワーカー連絡会	オンライン参加	2021.11.12
広島県産業保健総合支援センター主催 「就労支援セミナー」	オンライン参加	2021.11.16
令和3年度 ジョブコーチ支援事業推進協 議会	広島障害者職業セ ンター	2012.12.22.

5 障害のある人の権利擁護に関する事業

研修会、イベント開催を通じて障害のある人の人権擁護に関する普及啓発を行った。

6 関係行政機関、団体等との連携に関する事業

(1) 全国社会就労センター協議会にアンケート・要望事項の提出

①共同受注窓口体制に関するアンケートへの協力

②全国社会就労センター協議会関連会議、研修会への参加

I 第1回協議員総会 5月17日(月) オンライン開催

・議題 令和2年度事業報告・決算(案)、役員改選について 等

(2) 中国・四国社会就労センター協議会

I 役員会 5月21日(金) オンラインによる開催

・議題 協議会委員について 等

II 中国・四国社会就労センター協議会総会 6月 文書審議による開催

・議題 令和2年度事業報告・決算(案)、令和3年度補正予算、令和4年度事業計画・予算(案)

について など

### (3) 障害者の就労に関する各団体及び理解と支援を示す各団体との連携

厚生労働省広島労働局、広島県障害者支援課、広島市障害自立支援課、広島県雇用人材確保課、広島障害者職業センター、広島障害者職業能力開発校、各障害者就業・生活支援センター、ハローワーク呉、ハローワーク広島、ハローワーク広島東、ハローワーク可部、ハローワーク廿日市、呉特別支援学校、広島北特別支援学校、広島特別支援学校、廿日市特別支援学校、黒瀬特別支援学校、広島市立広島特別支援学校、広島県共同募金会 広島県社会福祉協議会、ひろしまNPOセンター、千羽鶴未来プロジェクト等

## 7 障害福祉サービス事業所の運営

### (1) 就労継続支援B型事業 利用契約者数：26名（3月末現在）

#### ①利用者支援について

通所日数や就労時間が少ない利用者については、面談による評価・振り返りの実施等、利用者個々の状況に応じた個別アプローチを行い、通所や“働くこと”に対する意欲向上を促した。しかし、生活面や体調面に課題があるため通所日数、就労時間が伸びない、もしくは短縮するケースが目立った。本人や家族、関係機関と連携しながら、これから先どのような支援を提供していくことが本人のためになるのかを一緒に考え、サポートしていく必要がある。

現在、利用者の力を引き出す支援は提供できるようになってきているものの、仕事の頑張りを評価する仕組みを作ることができなかった。2022年度に工賃規定の見直しを行い、作業内容に応じた工賃支給額を定めることで、利用者の通所意欲、作業意欲を高めていきたい。そのためには、工賃を支払うだけの売上を確保しなければならない。売上向上のための行動計画を作成し、職員が共通の意識・目標を持ちながら利用者の工賃向上に取り組んでいく。

#### ②コロナ禍での活動支援

引き続き、作業場所についてはパーティションの設置やテイクアウトのみの営業、消毒や換気の徹底等の対策を実施し、利用者それぞれが安心して働ける環境づくりに努めた。また、利用者、ご家族ともに行動管理や検温、マスクの着用、事業所への送迎等をお願いした。感染への不安が強い利用者には、希望に応じて在宅支援を提供した（在宅支援提供者のべ人数：39名）。

#### ③千羽鶴未来プロジェクトと協同して、障がいのある方の仕事づくりを行う。

- ・千羽鶴ファクトリーチームのキーステーションとして、バナナチップス、カシューナッツ、生こしょう、アクセサリ製作等のグッズの共同製作やオリジナルグッズの製作、新商品の案内などの情報発信に努めた。
- ・広島市就労支援センターが発行するセンター通信に新商品の紹介や共同製作に関する記事を掲載し、情報発信に取り組んだ。
- ・折り鶴ポストカード事業（広島市の優先調達推進法を活用）

「平和のしおり」発注に対する組み立て等の作業を事業所で共同受注した。

〔広島平和記念資料館 納品状況（個）〕 参加事業所：26事業所

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
37,000	37,000	37,000	37,000	38,000	38,000	38,000	38,000	300,000

#### ④その他活動

- ・掃除強化ダイの設定：掃除強化日を設定（週1日）

#### (2) その他

##### ①職員会議（年3回）、職員ミーティング（月1回）

個々の利用者の支援内容や個別支援計画の内容について協議、行事や事業所運営に関する検討等

##### ②関係機関との連携・研修会への参加（オンライン）

- ・「HACCP 対応研修会」、「令和3年度指定障害福祉サービス事業所等集団指導研修（年2回）」、「障害のある方への支援における権利擁護について」等、職員のスキルアップを図るための研修に積極的に参加した。

### 8 その他公益目的達成に必要な事業

#### (1) 総会、理事会の開催

新型コロナウイルス感染拡大のため、書面決議にて開催した。

##### ①総会

- ・第1回

【日時】 6月17日（木） 定款第18条の「書面決議等」による書面決議

【議案】2020年度事業報告（案）、決算報告（案）、会員の入退会等

##### ②理事会

- ・第1回

【日時・場所】 5月31日（月） 定款第34条の「決議の省略」による書面決議

【議案】2020年度事業報告（案）、決算報告（案）、会員の入退会等

- ・第2回

【日時・場所】12月24日（金）定款第34条の「決議の省略」による書面決議

【議案】上半期事業報告、特定資産取得計画の変更等

- ・第3回

【日時・場所】3月29日（火）定款第34条の「決議の省略」による書面決議

【議案】2022年度事業計画（案）、予算（案）、すまいるスタジオ運営規程の変更等

#### (2) 正会員及び賛助会員の拡大を推進し、組織の強化を図る。

##### ①正会員

入会事業所：太陽の町、りひと、ふたつかの里

退会事業所：ばすてる大野原、三原きぼう作業所

#### (3) 財務基盤の確立

- ・塩、ルイボスティ、スティックシュガー、缶飲料等の販売促進の取り組みを行った。